

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

公益社団法人隊友会におかれましては平素から海上自衛隊に格別のご高配を頂きありがとうございます。

さて、第3護衛隊、「すずなみ」及び「きりさめ」は、皆様の御支援を賜り、本年5月4日をもって海賊対処任務を終了致しました。ジブチにおいて第15次隊にその任務を引き継いだ後は、日本への帰投針路を取り、「きりさめ」は6月7日、「すずなみ」は6月10日に、それぞれの母港である佐世保及び大湊へそれぞれ無事入港致しました。

思い起こせば、ソマリア沖・アデン湾における111日間、航行船舶の護衛に邁進し、海賊事案を発生させなかったことについては、海上自衛隊が平成21年3月に本任務を開始して以来の成果を継承できたことに安堵するとともに、乗員一同、誇りに思うところです。

派遣期間中、任務について最も印象に残ったことは、2月20日から実施した護衛をもって、海上自衛隊が任務を開始して以来約4年目にして、護衛対象船舶数がついに3000隻に達したことであります。この節目に、現場指揮官として立ち会うことができたことは幸運であり、また皆様の長きに渡る御理解と御支援なくして成し得なかった結果であると感じた次第です。

また、帰投中、洋上にて乗員1名がドラム缶の落下を頭部に受けて重傷を負った付近航行中のタンカーから医療支援を求められ、これに対応したことがありました。当隊はヘリコプターにて医官等を急派、一昼夜に渡る縫合・点滴等の応急処置を行った結果、彼は一命を取り留めたという次第です。

当隊、しばらく休養を頂いたのち、日本周辺における任務に復帰することになりますが、海賊対処任務において得た誇りと皆様から頂きました励ましのお言葉を胸に、引き続き整齐と任務の完遂に全力を尽くしていく所存であります。

まずは、略儀ながら書中をもって関係の方々の御支援、御協力に対しまして心から御礼申し上げますとともに、今後とも御協力を賜りますようお願い致します。

末筆ながら、隊友会の一層の御隆盛をお祈り申し上げます。

謹白

平成25年6月吉日

第14次派遣海賊対処行動水上部隊指揮官

第3護衛隊司令

1等海佐 下 淳市